

スポーツ振興課の主な取組

愛知県スポーツ
推進計画基本施策
I・V

1 あいちスポーツコミッションの取組について

スポーツ大会を招致、育成し、地域活性化につながる取組を進めるため、県内市町村、スポーツ関連団体、マスメディア、大学、企業等と連携する仕組みとして「あいちスポーツコミッション」を設置し、地域の関係者が一体となり取組を推進。

(1) フリーマガジン・Web サイト・SNS による情報発信

<フリーマガジン「aispo!」>

- ・ 県内で開催されるスポーツ大会やプロスポーツチーム・実業団チームの活動などを紹介
 - ・ 年 4 回の発刊で、県内の名鉄主要各駅、スポーツ施設やスポーツショップ等で配布
- ※今年度は発行 10 周年の年にあたるため、記念号を 10 月末に発行



フリーマガジン
「aispo!」

10 周年記念号

<Web サイト・SNS>

- ・ 県内のスポーツ大会情報やプロスポーツチーム・実業団チームの情報を発信
- ・ Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram でリアルタイムに配信
- ・ スポーツ大会の現地レポートやフリーマガジン「aispo!」と連動した記事を web に掲載

(2) プロスポーツチーム等との連携

県内に本拠地を置くプロスポーツチーム、実業団チームと連携し、スポーツ振興や地域課題の解決に向けた様々な取組を推進。



本庁舎公開イベントの様子

<2024 年度の主な取組>

(愛知県庁本庁舎公開イベント)

本庁舎正面玄関前にて、HC名古屋の選手によるトークショーやじゃんけん大会、本庁舎内にて応援グッズ作り体験を実施。

(親子観戦企画)

中日ドラゴンズ、名古屋グランパス、トヨタヴェルブリッツ、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ等と、県内の小中学生やその保護者等を対象とした観戦企画を実施。



観戦企画 P R ポスター

2 スポーツ大会を活用した地域振興について

国際的・全国的なスポーツ大会の盛り上げを行い、大会の持つ集客力や情報発信力を活用して愛知の魅力を国内外に発信し、地域の活性化をる。

(1) 奥三河 Trail Running Race (旧：奥三河パワートレイル)

林道・砂利道・登山道などの未舗装路を走るトレイルランニング大会。アップダウンが厳しい本格的な中距離レースで、2015 年から開催し、2024 年は距離を 35km に変更し開催。

<大会概要>

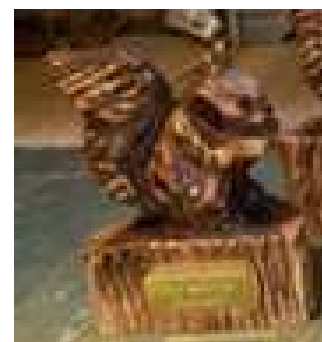
- ・ 開催日程：2024 年 10 月 27 日（日）
- ・ 開催場所：新城市、設楽町
- ・ コース：「設楽町立田口小学校」から「ふれあいパークほうらい」までの約 35 km、累計標高差（登りの高さの合計）約 2,600m
- ・ エントリー数：292 人
- ・ 出走者数：264 人（15 都道府県）、完走者 203 人（完走率 76.9%）
- ・ 観戦者数：約 1,000 人



奥三河 Trail Running Race

<県の取組>

- ・ エイドステーションでの奥三河の特産品の提供
- ・ 大会オリジナルの手ぬぐい、チェーンソーアートの副賞トロフィーの制作
- ・ 大会コースにおける案内表示板の設置
- ・ 大会や奥三河の魅力を SNS 等により PR
- ・ スタート会場、トレラン EXPO の盛り上げ など



チェーンソーアートで作製したトロフィー（リス）

<次回大会>

調整中

<今後の課題>

- ・ 大会運営に係る市町村の負担軽減
- ・ 開催地域での盛り上げ
- ・ 出場者数の確保

(2) FIA 世界ラリー選手権（WRC）ラリージャパン

国際自動車連盟（FIA）が 1973 年に創設したラリー競技の最高峰に位置する世界選手権。F1 と同様の人気を誇り、2024 年は欧州を中心に世界で 13 戦開催され、最終戦を 11 月に愛知・岐阜にて開催した。

<大会概要>

- ・ 開催日程：2024 年 11 月 21 日（木）～24 日（日）
- ・ 開催場所：豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道、林道、農道（岡崎市・豊田市・新城市・設楽町・中津川市・恵那市）

- ・ サービスパーク：豊田スタジアム
- ・ 興行主体：ラリージャパン 2024 実行委員会（豊田市、恵那市、トヨタ・モータースポーツ・クラブ、（特非）M.O.S.C.O、豊田まちづくり（株））
- ・ 協力：ラリージャパン 2024 関係自治体連携会議（開催場所の自治体、スーパーバイザー：愛知県・岐阜県、アドバイザー：名古屋市、長久手市）
- ・ 参加台数：44 台
- ・ 観戦者数：543,800 人※有料観客席、イベント会場、沿道応援観客数の合計（速報値）



©Rally Japan

< 県の取組 >

- ・ ラリー車両等の展示による大会 PR（名古屋駅）
- ・ パブリックビューイングイベントの開催（ナディアパーク）
- ・ 学生を対象としたサービスパーク見学会の開催
- ・ 公共交通機関等での歓迎装飾の実施（名古屋駅、東山線、トラックビジョン等）
- ・ 表彰台登壇者（1～3 位）への知事賞、あいちの花で作った花束の贈呈
- ・ ラリーカーをデザインしたランドセルカバーの配布
- ・ 県特産品が当たるアンケートキャンペーン など



パブリックビューイング
会場の様子

< 次回大会 >

- ・ 開催日程：2025 年 11 月 6 日（木）～9 日（日）

< 今後の課題 >

- ・ 広報・PR によりさらなる観戦者の増加
- ・ 開催地域以外での機運醸成・盛り上げ

（３）RALLY 三河湾

国内最高峰のラリー競技である JAF 全日本ラリー選手権の 1 戦として 2024 年から蒲郡市内を中心に開催。新城ラリーのレガシーを引き継ぎ、三河地方でのラリー文化のさらなる普及と地域活性化を目指す。

< 大会概要 >

- ・ 開催日程：2024 年 3 月 1 日（金）～3 日（日）
- ・ 開催場所：ラグーナ蒲郡（メイン会場）及び周辺自治体の一般公道・林道等（蒲郡市、岡崎市、豊川市、幸田町）
- ・ 主催：ラリー三河湾実行委員会（構成団体：MASC、愛知県、蒲郡市、トヨタ自動車㈱、近畿日本ツーリスト㈱、名古屋テレビ放送㈱、ラグナマリーナ㈱、ラグーナテンボス㈱）
- ・ オブザーバー：岡崎市、豊川市、幸田町
- ・ 参加台数：87 台
- ・ 観戦者数：50,900 人※有料・無料観戦エリア、イベント会場の合計（沿道応援除く）



RALLY 三河湾

< 県の取組 >

- ・ デジタルサイネージ広告等による歓迎装飾（名古屋駅、JR 車内、高速 SA 等）
- ・ ラリー車両の展示及び大会 PR の実施（NEOPASA 岡崎）
- ・ 大会情報を掲載した観戦・観光ガイドブックの発行及び Web への掲載

- ・ ラリーカー約 10 台が栄や名古屋駅などをパレードする
RALLY 三河湾パレード in 名古屋の開催
- ・ 大会のライブ配信
- ・ 優勝したドライバー・コドライバー（ナビゲーター）に
知事賞、あいちの花で作った花束の贈呈
- ・ 会場における PR ブースの設置 など



RALLY 三河湾パレード in 名古屋
(パレード後のラリーカー展示
の様子)

< 次回大会 >

- ・ 開催日程：2025 年 2 月 28 日（金）～ 3 月 2 日（日）

< 今後の課題 >

- ・ 広報・PR によりさらなる観戦者の増加
- ・ 開催地域内での機運醸成、盛り上げ

（４）マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知

世界最大の女子マラソンである名古屋ウィメンズマラソン、競技用車いす（レーサー）による女性のための名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン（2014 年から）、名古屋シティマラソンで構成される大会。

< 大会概要 >

- ・ 開催日程：2024 年 3 月 8 日（金）～10 日（日）
※ 競技開催日は 10 日（日）
- ・ 出走者数：名古屋ウィメンズマラソン 15,421 人（※）
名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 11 人
名古屋シティマラソン 9,628 人
※このほか、オンラインマラソンに 884 人がエントリー。
海外からのエントリー数は 32 の国と地域から 2,059 人
（海外在住の日本人含む）。
- ・ 観戦者数等：マラソン EXPO 来場者 101,416 人、沿道観戦者約 26 万人（※実行委員会発表）、ボランティア約 6,580 人



名古屋ウィメンズマラソン

< 県の取組 >

- ・ マラソン EXPO における愛知の特産品等の PR
- ・ あいちの花の PR（フィニッシュレーンの装飾、優勝者等へのビクトリーブーケの贈呈など）
- ・ エイドステーションでの愛知の特産品の提供
- ・ ホイールチェアマラソンの実況
- ・ 名古屋駅、中部国際空港における歓迎装飾
- ・ 特設 Web サイトの制作及び大会のライブ配信 など



名古屋ウィメンズ
ホイールチェアマラソン
表彰式の様子

< 次回大会 >

- ・ 開催日程：2025 年 3 月 7 日（金）～9 日（日）

< 今後の課題 >

- ・ ホイールチェアマラソンのさらなる盛り上げ（参加者及び観戦者の増大）
- ・ 海外からの参加者に向けた愛知のさらなる魅力発信

3 あいちスポーツイノベーションプロジェクトの推進について

STATION Ai オープン、愛知国際アリーナ開業、第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会を始めとする国際スポーツ大会の開催などを起爆剤として、産学官等の連携により、スポーツ分野のイノベーションを推進し、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化及びスポーツを通じた地域活性化を図る。

＜プロジェクトの推進母体としてコンソーシアムを設立＞

- ・ 名称：あいちスポーツイノベーションコンソーシアム AiSIA（アイシア）
- ・ 設立日：2024年6月11日
- ・ 主な参画団体：大学、スポーツチーム、企業、スポーツ関連団体等
- ・ 会長：愛知県知事
- ・ 事務局：愛知県（代表事務局）、㈱中日新聞社

＜2024年度事業の内容（県事業実施分）＞

(1) コンソーシアムの設立・運営

- ・ 推進母体となるコンソーシアムの設立・運営
- ・ スポーツチームのニーズ調査等、プロジェクト推進に必要な調査の実施

(2) AiSIA アカデミーの開催

- ・ スポーツ産業を支える人材育成を目的として、大学生等を対象とした全5回の人材育成講座（AiSIA アカデミー）を開催

(3) AiSIA アセレーションプログラムの実施（スポーツチーム等との連携共創事業）

- ・ スポーツチーム共通の集客に関する課題の解決に向け、事業提案を募集・選定し、実証事業を実施（選定者：KUROFUNE㈱、㈱はこぶん）

(4) スポーツと他産業による地域課題解決共創モデル事業の実施

- ・ 民間企業がスポーツチーム等と連携して実施する地域課題解決に資する取組を、モデル事業として採択して支援（2024年度は、名古屋オーシャンズ協力のもとウェルネスプログラムを開発し、介護予防・運動習慣の定着を目指す実証を県内5市町で実施。）